

さまざまな悩み・不安を抱え…

22年度の「相談会」終える

平成21年度の「高校奨学生と保護者の相談会」は、7月の岩手県を皮切りに福岡県、愛媛・香川両県、鹿児島県と続き、12月の東京・関東6県を最後に当初の計画通り6都県で開催終了した。

今年度の参加率は17・8%で、昨年度より4ポイント下回った。これは、参加者を開催県だけでなく周辺の他県にまで広げ、対象家庭数を増加したためである。

最も多かった相談内容は進路関係。「看護系の専門学校へ進学したい」「中学校の歴史の先生を目指したい」と、はっきり目標がある奨学生がいる一方で、「進学希望だが、何をやりたいか決めかねている」といった相談者もいた。

奨学金に関しては、「専門学校に進学するつもりだが、引き続き奨学金と共に準備金をお願いしたい」という保護者には、「奨学金予約願書の申し込みをしておき、合格が決まったら、準備金については早めに合格証など必要書類を提出するように」とアドバイスをした。

「東京寮から通学できる学校に進学したい」という奨生が、引続き奨学金と共に準備金をお願いしたい」という保護者には、「奨学金予約願書の申し込みをしておき、合格が決まったら、準備金については早めに合格証など必要書類を提出するように」とアドバイスをした。

平成22年度 相談会参加状況

対象自治体(実施地)	実施月	対象家庭数	来場家庭数	参加率(%)	電話相談
岩手県・青森県・秋田県(盛岡市)	7月	15	4	26.7%	0
福岡県・長崎県・佐賀県(福岡市)	9月	31	8	25.8%	1
愛媛県・四国4県(松山市)	10月	16	2	12.5%	0
香川県・四国4県(高松市)	10月	16	3	18.6%	0
鹿児島県・熊本県・宮崎県(鹿児島市)	11月	18	2	11.1%	0
東京都・関東6県(東京)	12月	89	14	15.7%	1
計		185	33	17.8%	2

愛媛県 (四国4県)



香川県 (四国4県)



鹿児島県 (熊本・宮崎県)

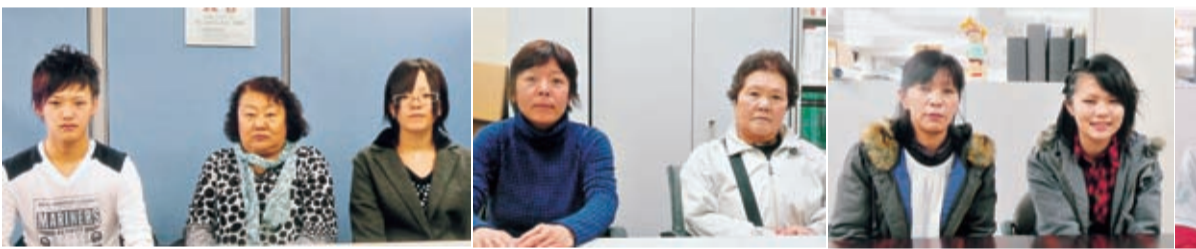


東京都 (関東6県)



「東京寮から通学できる学校に進学したい」という奨生が、引続き奨学金と共に準備金をお願いしたい」という保護者には、「奨学金予約願書の申し込みをしておき、合格が決まったら、準備金については早めに合格証など必要書類を提出するように」とアドバイスをした。

「東京寮から通学できる学校に進学したい」という奨生が、引続き奨学金と共に準備金をお願いしたい」という保護者には、「奨学金予約願書の申し込みをしておき、合格が決まったら、準備金については早めに合格証など必要書類を提出するように」とアドバイスをした。



考えが変わって 高校生生活楽しく

三重県 友定 舞雪

私は中学生の頃、学校があまり好きではありませんでした。気の合う友達もいないし、学校へ行くのも面倒で、毎朝遅刻気味で通っていました。人の嫌なところばかりが目が行き、嫌いな人は嫌い、好きな人は好きという考え方でとても突っ張っていました。相手を傷つけるようなことも言ったりしていました。

しかし高校に入ってから私の考え方は180度変わったのです。何かきっかけがあったというわけでもなく、自然とそうなるようになっていきました。

気の合う友達ができ、自分の考え方を理解してくれる人もいて、自分の思い通りに事が進んで幸せでした。そして友達が私にこんなにも良くしてくれるのなら、自分も良くしてあげたいという気持ちになっていきました。

また、ありがとうと言われるのが嬉しくて、山の中にある学校で暮らすのが好きです。

健康を取り戻し 絵に勉強に全力

岡山県 小野 幸織

私は絵を描くことが大好きで、将来は絵に関する仕事をしたいと考え、県内で唯一、普通科で美術工芸系のある総社南高校に入学しました。いよいよ本格的に絵の勉強ができる—デッサンを何枚も描き、初めて油絵を習い、夏休みには美術合宿に行き…自分でも表現が格段に上達していくのが実感でき、本当にうれしかったです。

しかし、夏休みが終わると、相手の気持ちを考えることができないようにもなりました。誰かの悪口を聞いたりも「あの人はこんな良いところもあるよ」と言ったり、これと言って部活も強くない学校ですが、のんびりしてあんまり競争心が感じられない点が、私としては気に入っています。自分のペースでやれるので性格には合っていると思います。

私の部活は新聞部、地道ながら頑張っています。家では多少手伝いをしたり、ケーキとかお菓子も作ります。

高校生の声

山口県 関 真佳

毎日毎日、淡々と過ごしています。

家から学校までは遠いので朝5時30分には起きるよう努力しています。でも冬は起きるのがやっぱりつらいです。

家から駅まで20分、駅から学校まではバスで40分くらいです。山の中にある学校で暮らすのが好きです。

4人と1匹の 家族が仲良く

東京都 池田 佑貴

僕の家族は僕を含め4人と犬1匹です。

皿の型がなかなかうまくできず時間ばかりかかっていましたが、最近では本物のケーキと見間違えくらい上手に仕上げるようになりました。だいぶ満足するものになってきました。

最後は犬の「すみれ」です。8年前、ペットショップでまだ生後3カ月ほどのこの子に出会いました。この頃はほえてうるさい時もありましたが、とてもかわいいのは昔から変わりません。こんな家族に僕は愛されたいです。

いい社会は自他 尊重の意識から

福岡県 石見 昌也

自分は、「社会」とは自分を取り巻いている人的環境であると思う。環境とすると、家族は家族社会であるし、住んでいるところは地域社会、そして、学校へ行く場合は学校社会である。このように社会は同心円状に広がりながら、結局は地球の果てまで含むものである、と自分は思う。

この世に生を受けた以上、幸せな人生を送りたいと思うのは誰でも共通した願いであろう。身近な社会だけでなく、広くは世界的な規模において、住みやすい社会を実現することが大切である。

その第一歩は、社会の一員であることを自覚し、自分も大切な他人と同様に大切にしたいという気持ちを忘れないことであろう。互いにこのことをよく認識し、実生活に生かしていくことができれば、必ず住みやすい社会が実現できる、と私は確信する。

高校生の声

山口県 関 真佳

毎日毎日、淡々と過ごしています。

家から学校までは遠いので朝5時30分には起きるよう努力しています。でも冬は起きるのがやっぱりつらいです。

家から駅まで20分、駅から学校まではバスで40分くらいです。山の中にある学校で暮らすのが好きです。

東京都 池田 佑貴

僕の家族は僕を含め4人と犬1匹です。

皿の型がなかなかうまくできず時間ばかりかかっていましたが、最近では本物のケーキと見間違えくらい上手に仕上げるようになりました。だいぶ満足するものになってきました。

最後は犬の「すみれ」です。8年前、ペットショップでまだ生後3カ月ほどのこの子に出会いました。この頃はほえてうるさい時もありましたが、とてもかわいいのは昔から変わりません。こんな家族に僕は愛されたいです。

福岡県 石見 昌也

自分は、「社会」とは自分を取り巻いている人的環境であると思う。環境とすると、家族は家族社会であるし、住んでいるところは地域社会、そして、学校へ行く場合は学校社会である。このように社会は同心円状に広がりながら、結局は地球の果てまで含むものである、と自分は思う。

この世に生を受けた以上、幸せな人生を送りたいと思うのは誰でも共通した願いであろう。身近な社会だけでなく、広くは世界的な規模において、住みやすい社会を実現することが大切である。

その第一歩は、社会の一員であることを自覚し、自分も大切な他人と同様に大切にしたいという気持ちを忘れないことであろう。互いにこのことをよく認識し、実生活に生かしていくことができれば、必ず住みやすい社会が実現できる、と私は確信する。



今年の夏休みは イギリスへ カナダへ オーストラリアへ

英語での生活 異文化との出会い

海外語学研修第8期生を募集

交通遺児育英会は、平成23年度海外語学研修(第8期生)に参加する高校奨学生を募集する。派遣する国は昨年度と同じイギリス、カナダ、オーストラリアの3カ国。期間は夏休み中の3週間から4週間ほど、いずれもホームステイしながら現地の高校に通う。

応募資格は 高校1、2年生および中学3年在学生(派遣時は高校1年生)。

第7期で、初めて試みた拡大募集に予想以上の応募者があつたことから、今回も同様に中学3年在学生を対象に含めた枠で実施する。受験間近の中学3年生も

中学3年生も奮って応募を



ソールズベリーでの授業風景(平成22年8月)

ペリー。この街でホームステイしながらソールズベリーのスクール・オブ・イングリッシュ校に通う。この学校では、午前中は英語研修、午後はスポーツや周辺観光などのアクティビティー(課外活動)を通じて、世界中から学びに来る学生と交流を深める。クラスは各国混成の15人前後で、英語のレベルによ

って編成、楽しく学べるように配慮されている。

◆カナダコース
オーストラリアコース
この2コースは、高校生との交換留学などの異文化交流事業を行っているエイ・エフ・エス(AFS)日本協会に委託して行う。

◆カナダコース
7月16日〜8月14日の30日間 《募集人員2人》
ブリティッシュコロンビア、アルバータ州などの英語圏で生活し、世界各国からのAFS生と一緒に研修を受ける。

募集要項

応募資格

現在 高校1、2年生および中学3年(1993年4月以降生まれ)に在学中の派遣時本会高校奨学生で、心身ともに海外留学に適応でき、外国語習得、異文化体験に興味のある人。

参加者は帰国後、1200字のリポートと現地でのスナップ写真3枚提出が義務づけられる。

研修費用
国内運賃も含め派遣のための費用は本会が負担するが、パスポートは個人で取得しておかなければならない。また、顔写真代なども自己負担とする。

選抜方法
「海外語学研修応募の動機」をテーマとした作文をA4判原稿用紙2枚分(800字)に書き、提出する(パソコン利用の場合も800字)。

原稿用紙に1から3までナンバーをつけ、1枚目には①奨学生番号(中学生は不要)②郵便番号③住所④

氏名⑤学校名⑥学年の希望国名(カナダ、オーストラリア希望者は第2希望も記入)を明記し、2枚目、3枚目に作文を書き、計3枚郵送すること。

作文審査で派遣候補者を選出。3月26日(土)に面接を行い、決定する。可否は4月初旬、郵便で通知。6月25日(土)には派遣

あしながおじさんのお便り

少額ですが私も頑張って送ります。皆さんも勉強に頑張ってください。

(恵庭市 K・Yさん)

☆ (仙台市 M・Sさん)

私自身、3歳の時、交通遺児となりました。現在は56歳です。東北大学医学部を卒業後、小児科医師として開業しております。少しでも協力したいと思っております。

☆ (東京 H・Kさん)

遺児支援には以前から関

気持ちがばかりの金額です。無事に日々暮らしていることへの感謝の気持ちです。

(浦安市 S・Kさん)

☆ (掛川市 H・Aさん)

心がありました。このたび、ローン支払終了に伴い、市役所で情報収集して貴会の

存在を知りました。小生も苦学生でした。

5年前に信号無視のトラックにはわれ重傷を負いました。やっと和解成立しましたが、心身共に後遺症です。幸せのおすそ分けをさせていただきます。

(大阪市 R・Hさん)

幸せのおすそ分けをさせて

お役に立てたか。

(掛川市 H・Aさん)

☆ (豊橋市 N・Fさん)

私は他の奨学金で大学へ行くことができました。その恩返しとして、事故で後遺障害を負いましたので、経済的理由で真に学びたいと思っている人たちが進学できない状態を少しでも減らせたいと思います。

(山口市 T・Sさん)

弊社では「ディーラー」としてどんな地域貢献活動ができるか」と考えた結果、困っている人を支援しようと思ひ、以前もトラックのグループで寄付していただきました。少なすぎませんが、だという結論を得ました。

(広島市 R・Kさん)

(福岡市 TC博多様)

関西学生寮10カ所から25人

大阪で合同面談会

評判上々 塾生の味

心塾 もちつき大会に600人

冬の日差しにあふれた会場は、600人を超える近隣の家族連れやお年寄りらでにぎわった。

午前10時、いよいよもちつき開始。朝早くに来て、玄関前で行われていた輪投げに大はしゃぎしていたチビっ子たちも一斉に前庭に駆け付けた。塾生が力強くきねを振ると、3基の臼から真っ白いもちがどんどんつき上がっていく。塾生

に勧められ、きねの扱い方を教わりながら、もちつきにチャレンジする元気な子も多かった。

つき上がったもちが各テーブルに運ばれると、あんなにもちつきが、磯辺とで上がった。待ちかねた人たちが皿を手には、好みの味付けのところに詰め掛け、とても長い列ができるほど。訪れた人たちは、塾生が用意したテントの中や持参したシートに座り、舌鼓を打っていた。用意された100キロのもち米は、「完食」となり、定番の焼きそばとどん汁も人気。チビっ子たちは、すぎない景品がもらえるビンゴ大会に沸き、スタンラリーに駆け回っていた。



女の子も元気に「ヨイショ」

同面談会を実施した。参加したのは大学、専門学校の寮生25人。本会からは石橋健一専務理事はじめ4人が出席した。石橋専務のあいさつに続き個別面談を実施。その後、和やかな雰囲気の中で寮生同士の親睦を狙いとして毎年開いているもの。

あしながおじさん募集中

生・保護者説明会を行う。

東京千代田区平河町 2102-0093

大阪都心から約30分歩いて通勤している。

コースは日比谷公園・国会議事堂ルートと皇居お堀端ルートで、変わりゆく草花・風景を楽しみながら、ツツジの咲く頃まで、来る

平河町だより ことを恐れずにはならない。百年の時は一瞬にすぎない。いたずらに時を過ごすことのないように……という

新維の偉人吉田松陰の名言を、猛省を込め自分に、希望を込め読者に贈ります。

(H・K)

資源回収する塾生ら

今年11月の土日を利

平成22年はハヤブサの地球帰還とノーベル化学賞受賞の二つの快挙があった。化学賞の対象となった鈴木木章、根岸英一両教授らのクロスカップリングは、ベ



それを可能にしたのが、パラジウムを触媒に有機ホウ素化合物を用いたクロスカップリング反応の開発で、多くの製品をもたらした。受賞者の一人である根岸

英一教授が、「これだけ努力すればいつかは報いられると信じていた」と発言したように、まさに努力の積み重ねがノーベル賞をもたらしたと言える。

宇宙航空開発機構の工学実験探査機ハヤブサは、外国に先駆けて日本の研究者が開発したイオンエンジンによる航行で深宇宙を探査し、小惑星の表面物質を採取して帰還するというサンブル・リターンを果した。地球からの指令が届くのに15分もかかる遠方を飛んでいるハヤブサには、状況を適切に判断して課題を果す自律装置と、それを実行するプログラムがあらかじめ本体に取り組みまれている。しかし、ハヤブサは長期

にわたる過酷な宇宙環境の中でエンジンに不具合が生じるなど満身創痍の状態。イトカワからの離陸が困難な事態に陥ったり、地球との通信が途絶えたりした。開発機構の関係者は、そのつと事態がどのような事象で起こったかを推定し、あらゆる運用プログラムについてハヤブサに送信して一つ解決していった。世界で初めてのサンプル

みんなで考えるメンタルヘルス ⑱

努力すること

中根 晃 (理事長・元実践女子大学教授)

の帰還は、宇宙科学に携わる開発機構の全研究者の努力の賜物であろう。ハヤブサの帰還の発表と同時に諸外国からイオンエンジンの発注が相次いだ。自然科学の世界では、努力なしには新しい成果は生み出せない。努力が必要なのは研究の領域だけではない。先日のテレビで、無農薬でおいしい米作りの金賞に輝いたある農家が、稲に問いかけて、話しかけるように栽培している情景が放映されていた。苗代から黄金色の稲穂まで、心を尽くして育てあげた数十年、稲に対しても情が湧くというものであろう。世間では「いろいろ努力したのですが」という言い訳がまかり通っている。相手が取りあえず手をつけにくいのだからということとで納得する。しかし、画期的な商品が製品として販売されるまでには多くの人の懸命な努力がある。電波による指令が届くまでに十数分もかかる深宇宙のハヤブサの不具合に対して、新たにプログラムを組んでハヤブサのコンピュータに送信したように、コンピュータは知恵と努力がなければ有効には働かない。日常生活の中でも私たちは努力というコトバに甘えることなく、自分がどこまでできているのか、実現にはどのような手段が必要なのかを究明して、精魂を込めて実行していくことが必要であろう。輝かしい成果も、精神的な健康もふと訪れてくるのではなく、広い視野のもとでの努力によってもたらされるのである。

燃える青春

部活動拝見 陸上競技部

長野県 長野県須坂高校 1年

堀尾 佳希君 (16)



信州・JR長野駅から長野電鉄に乗り換え約20分、千曲川を越えようと須坂市である。この街は明治中期から大正、昭和初期にかけて製糸業で隆盛を極めた。当時の面影は、博物館、美術館、商店などに使われている。

堀尾君は、1年生ながら昨年の北信越高校新人陸上大会に棒高跳び県代表で出場、けがもあって惜しくも入賞を逃したが期待の選手である。北原先生の赴任は、同校陸上部OBたちの念願だったのだから。堀尾君がこんな話をして各6人だ。この少ない部員を指導するのが、昨年4月、異動で移って来た同校陸上部先輩の北原三代志監督。

ぶっつけ本番でも成績残す

「朝練に遅れたり、物忘れもよくあったりして、練習おかげで、中学時代は3メートル70センチが最高だった。毎朝7時半から朝練をやった。堀尾君がこんな話をして各6人だ。この少ない部員を指導するのが、昨年4月、異動で移って来た同校陸上部先輩の北原三代志監督。



外で練習できない雪国長野、冬場はもっぱら筋トレで体力を作り、新しいシーズンを目指す

設はない。跳ぶためには、よその学校に行くか、長野市内の陸上競技場に行くしかない。普段は、走り込みとか筋トレなどで大会に備えている。「大会はいつもぶっつけ本番なんです。来週、北信越新人大会があるんですが、今月に入ってまだ一本も跳んでいないんです」取材したのは10月中旬。それなのに一度も跳んでいないという。その上、試合で使うポールはいつも他校からの借り物。年間5万円から10万円。この課題をこなすために、助走時の加速や力強い踏み切りのほか、体操選手のような腕の筋力や体さばきを要求される。「9月の大会のときもポールを借りたんですが、いつも使っていたポールより柔らかくて、跳ぶ瞬間ぐちゃぐちゃの感じがしたんです」と、彼は苦笑いした。試合で使用しているポールは、長さ14フィート(約4・27メートル)、硬さが160ポンド、身長170センチ、体重65キロで、助走スピード、筋力がついてきただけには少し柔らかすぎ、でもあるんです」と、彼は屈託なく語った。将来は、大学進学後ハイパーレスキュー隊員になる夢を持つ堀尾君、夢に向けて奮闘している。



油彩・木製パネル

岩手大学 教育学部 芸術文化課程 造形コース (美術専修) 3年

小野寺 愛

「声」



学校では、ポールを使った助走、踏み切りの練習しかできない

「野生的な部分があって、棒をしながら上がる際に、おっかなくなるとびる生徒がいるんだけど、彼は思いっきりがいいんです」と、期待をにじませてくれた。彼はこの半年、ほとんどやっていたなかった走り込みや筋トレなど、その上、ポールの用意も大変だ。彼の学校も、古いポールが一本あるだけで施



須坂高校陸上競技部の部員たち(堀尾君は後列右から3人目)